

市議会だより



荒川東小学校ふれあい学校



様々なイメージキャラクター
ポデくまん

9月定例会

- 28年度決算の認定
一般会計歳入決算額 347億5,970万円
歳出決算額 329億8,429万円
- 工事請負契約の締結
(防災行政無線システム整備工事)

荒川東小学校ふれあい学校の
子どもたちは、
1年生7名、2年生13名、
3年生が5名の25名です。
自然がいっぱいの荒川で
のびのびと毎日楽しく
過ごしています。

9月定例会の議案質疑等の内容

※9月定例会（9月5日から9月26日まで開催）では、市長提出議案25件のほか、議員提出議案5件、請願1件を審議しました。28年度決算に関わる質疑の主な内容は下記のとおりです。（28年度決算に対する討論、その他の主な議案についての質疑については4～5ページに掲載しています。）

一般会計決算

基金

問 市の財政調整基金が20億円を超える額になったが、今後どのような額がふさわしいと考えるか。

答 市の標準財政規模の10%が適当とされており、この基準に沿って積立て、取崩しを行っていききたい。

問 減債基金と公共施設整備基金は今後どのように積み立てていく計画か。

答 中期財政計画において、減債基金については歳出の削減により生み出された財源を計画的に積み立て、市債償還財源の一部とする計画となっている。公共施設整備基金については、市債の借入額を抑制するため計画的に取り崩し、普通建設事業に充当する予定である。

歳入

市税

問 市税滞納繰越分の収納率が改善した要因は。

答 個人市民税では、27年度に続き、県と連携し滞納整理に効果的な徴収業務を実施した。法人市民税では、27年度

大口滞納者を不能欠損処分としたことで28年度の調定額が減額した。

国庫補助金

問 主な増加要因は。

答 市民会館建設費に充当される社会資本整備総合交付金が増加したことや、臨時福祉交付金事業への補助金が増加したことによるもの。

歳出

地域公共交通網活性化

問 秩父鉄道整備促進協議会の活動内容は。

答 この協議会は、沿線の熊谷市、行田市、秩父市、羽生市、深谷市、皆野町、長瀨町、寄居町で構成されており、主な活動は秩父鉄道が実施する安全対策事業への支援、例えばレールの強度化等に支援をしている。また、イメージアップとしてのPR事業や国県等への要望活動等を行っている。

マイナンバー

問 マイナンバー事業における市の財政持ち出しは。

答 情報システム費で合計2,98万1千円。戸籍住民台帳費で合計1,555万9千円となっている。

消防・防災

問 非常備消防費が27年度に比べ減額になった主な理由は。

答 事業が完了したことによる下郷詰所の土地購入費の減、消防団デジタル無線機の購入費の減、消防自動車購入費の減などが主な要因である。

問 消防施設費が27年度に比べ増額になった主な理由は。

答 28年度の事業として、別所詰所新築工事2,343万4千円、27年度からの繰越事業である下郷詰所新築工事2,169万9千円などを実施したことが主な要因である。

民生費

問 不用額が27年度に比べ、大きく増えている理由は。

答 障がい者自立支援給付費の扶助費、子ども医療費の扶助費等において該当者が当初見込みを大きく下回るなどにより、多額の不用額が出たことによるものである。



の様子（本庁舎4階）



別所詰所



下郷詰所

問 災害対策費が27年度に比べ減額になった主な理由は。

答 県防災情報通信システム負担金が1,154万2千円増額となったものの、事業が完了したことによる災害時安全対応マニュアル作成業務委託料の減、地域防災計画改定業務委託料の減、防災倉庫購入費の減などが主な要因である。

児童館

諸工事の詳細は。

中村児童館においてエアコンが故障したことにより、屋内遊戯室を除く全館のエアコンの緊急入替工事を行った。また、外部の改修工事として、経年劣化による屋上防水材の劣化および東日本大震災等の影響による外壁のシーリングの劣化に対応するための工事をを行ったほか、遊戯室のテラス部分の床の劣化が激しかったため張り替えを行った。

高齢者福祉交流施設

利用者が減少傾向にあることについてどのように考えているのか。

下郷福祉交流センターの入浴施設からレジオネラ菌が検出され、入浴サービスの提供を中止したため、利用者数の減少を招いている。同様の入浴施設がある影森・高篠福祉交流センター、老人福祉センター・深流荘については引き続き入浴施設の利用ができるように、保守点検の回数を増やし、レジオネラ菌への対応をとり、下郷福祉交流センターについては入浴施設の利用を見合わせている。

この事業の目的には高齢者の引きこもり防止がある。利用者の増加に向け、どのような取り組みが必要と考えるか。

包括支援センターの介護事業やサロン事業など、地域の中で共に支え合うことで引きこもりやコミュニケーションの希薄化を予防する事業もある。単に施設に頼るのではなく、こうした事業を十分に活用いただくような方策で対応していきたい。

公衆トイレ

清掃委託の現状は。

市が管理する公衆トイレの多くが清掃委託を行っている。委託先は主にシルバー人材センターとなっている。一部町会等への委託や地元住民等に無償で清掃をお願いしているトイレもある。

町会は市からの業務も増え、高齢化もしてきている。一部を町会へ清掃委託しているということだが、町会負担の現状は。

町会から設置要望があり、清掃を町会にやっていたらということなどで設置したトイレもあるが、やはり大変だという話が寄せられているケースもある。よりよい方向性を検討していく必要がある。



9月定例会本会議

雇用就労対策

中学生職業セミナーの内容は。

市内全8校の生徒に対し、職業に関する知識を身に付け、働く意義や働き方、自分に合った仕事、大企業と中小企業の違いなどを学ぶとともに、市内の高い技術や世界的シエアを誇る企業の紹介などを行っている。

障がい者雇用促進の取組み状況は。

定住自立圏事業の一環として障がい者の雇用促進をしており、ノウハウをもっている社会福祉法人清心会に障がい者就労支援センターの運営を委託し、職業相談・就業準備支援・職場定着支援等に関する、職場訪問や家庭訪問、適性検査等の支援を行っている。28年度は目標10人に対し26人の実績を達成することができ、地域で自立した日常生活、社会生活を営める支援を行うことができた。

聖地公園

運営状況は。

28年度は、委託する受付業務を縮小し秩父市地域振興公社へ委託し、市の臨時職員非常勤職員などにより聖地公園を運営した。29年4月から委託ではなく、聖地公園管理事務所の窓口業務を市の完全な直営により、運営している。

放課後児童対策

放課後児童健全育成事業委託料の増額理由は。

児童クラブを実施する民間事業者に対しての運営委託料である。民間児童クラブは原谷児童クラブ、原谷第3クラブ、かみたのキッズクラブの3施設がある。増額の理由は、原谷児童クラブ、原谷第3児童クラブへの委託料の増額と、28年度に新たに、かみたのキッズクラブが開設したことによるものである。これにより、荒川地区の待機児童は解消された。

国民健康保険特別会計決算

不納欠損額が27年度に比べ、半減している理由は。

19年度税制改正により税額が上がったが、徴税が困難となっていた被保険者に対する不納欠損が、24年度から27年度で一区切りつき、28年度は減少したものである。

介護保険特別会計決算

不納欠損額が減少し、収入未済額が増加している理由は。

一部納付により、時効中断件数が増えたことによるものである。



28年度決算に対する討論

一般会計決算

討論

賛成

28年度の決算の特徴はさまざまな財政需要に対応しながら大規模な事業である市役所本庁舎等建設事業を実施し、財政規模では例年より膨らんでいるが、一方で地方債の繰上償還や基金の積み立てを行うなど、市財政の将来を見据えた対応を行っている。

今回の論点の一つであるマイナンバー制度は、社会保障、税、災害対策の3分野で、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用される。マイナンバーのメリットは、大きく3つある。1つめは行政事務を効率化し、人や財源を行政サービスの向上のために振り向けられること。2つめは社会保障・税に関する行政の手続で添付書類が削減され、国民の利便性が向上すること。3つめは所得をこれまでより正確に把握し、公平・公正な社会を実現すること。マイナンバー制度による個人情報漏えいなどに対する懸念の声もあるが、国では安全に利用するために、制度面として法令により保護を行

い、またシステム面では個人情報を一元的に管理せずに分散管理を実施している。

秩父市においても個人番号入りの住民票を交付する際には、その取扱いについての注意喚起文書を手渡したり、個人番号入りの書類の郵送は転送不要の簡易書留としているほか、個人番号カードの交付時のセキュリティに配慮して、交付場所の移動やカウンターの背後にパーテーションを設置するなど、個人番号および関連データの取扱いに特段の注意を払っており、賛成する。

反対

2年ぶりに行われた28年度の市民満足度調査ではこれまで同様特に雇用や医療分野の取組みについて満足度が低い。満足度調査に示された市民の声を率直に受け止めることから始めなくてはならない。28年度決算は市民の声に応え、市民生活に寄り添い、かつ市民の安心・安全に十分配慮した決算になっているとは言えず反対する。

反対

市役所本庁舎等建設事業は、大規模かつ市民の関心の高い事業について、いかにして可能な限り多くの市民による合意を創りだすかという課題を残した。またその根拠となる市の財政に関する理解の

浸透や事業に関する情報発信と説明のあり方についても課題を残した。

また、市長、議員等の期末手当を年額で0.1月分引き上げる措置が含まれている。特別職報酬等審議会を設置した上での特別職の期末手当の改定を求め、反対する。

反対

社会保障・税番号システム整備事業は、発行枚数が依然としてわずか数%である。システム整備に巨額を投じている割にまだにそのメリットはないと同時に、個人情報漏えいの危険性を市民が感じ取っていることの表れである。財務会計委託料は受任事務であるマイナンバー関連委託料でありながら全額自治体負担となっていることも容認できない。

非正規労働者が増加する中で子育てをしながらの就労が増え、公的保育の需要は増えている。保育士や給食職員など子どもにかかわる常勤者は正規職員とすべきである。生活保護は、厳しい社会状況下において、最後のセーフティネットとして必要な保護、適切な保護を実施するために多面的な改善が求められている。そのためにも時間外勤務が常態化しているケースワーカーの更なる増員が必要である。

後期高齢者医療特別会計予算

賛成

後期高齢者医療保険制度は、既に、広く周知が図られ、市民の理解も得られた制度である。高齢化が進み、特に75歳以上の方の医療費が増大する中で、財源の5割を公費で、4割を現役世代からの仕送りで支え、残り1割が保険料となっている。持続可能な国民皆保険とするために考えられた、高齢者に優しい制度であり、「高齢者をひとくくりにして、高齢者を追いやる制度」だという批判は当たらない。適切に運営がなされたと判断し、賛成する。

反対

高齢者が少ない年金生活で窮状にあるなか、埼玉県の平均保険料は、全国の平均保険料の中で、8番目に高い保険料となっている。また、保険料滞納者が多いのが実態であり、滞納額は11億円以上となっているが、反面120億円を超える黒字を計上している。市は県に、県は国に、制度の廃止を言めた対策・要望・意見をあげる必要があると考え、反対する。

介護保険特別会計予算

賛成

28年度は、行政主導から、地域住民主導の地域支援事業の整備・充実が着実に進められたと感じている。住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療と介護の連携も図られている。市民が安心できるサービスを提供し、地域の実情に合わせた運用を可能とした決算であったと考える。

29年度は「高齢者福祉計画」の見直し時期である。介護保険料見直しの際には、現在まで積み立ててきた基金等を活用し、利用者の負担軽減に取り組んでいただくことを要望し、賛成する。

反対

質・量ともに介護サービスが満たされず、介護が受けにくい状況が続いている。必要な時に必要な介護が受けられてこそ保険である。今日の介護保険制度は介護の必要性ではなく、いくら払えるかという支払い能力によって受けるサービスを選択せざるを得ない状況になっており、反対する。

決算以外の主な議案に対する質疑

工事請負契約の締結

防災行政無線システム整備工事金額 8億2296万円

業者 株式会社エヌエイチケイアイテック関東支社

問 総務省消防庁は、8月29日に北朝鮮によるミサイル発射情報を全国瞬時警報システム「Jアラート」で関係自治体に配信したが、各地で防災行政無線から放送が流れないなどのトラブルが相次いだ。今回、導入するものはトラブルが起きないように検証されたものを導入するのか。

答 導入当時は間違いなく運動している。ただ、システムを変更することがあり、変更時には必ず導通試験を行う。他の自治体で流れなかったのはシステム変更時に確認を行っていなかったのが原因だと考えている。現在、国の指導により導通確認を年3回実施することになっている。

一般会計補正予算(第2回)

問 子育て環境支援事業の乳児おむつ購入費助成金450万円には県の多子世帯応援クーポン事業補助金40万円が含まれているが、その詳細は。

答 0歳児の期間において1回限り、上限1万円でのおむつ購入費の一部を助成する。財源として計上している県の補助金は少子化対策事業の一環として多子世帯応援クーポンの事業のうちの一端である。県の事業は多子世帯であるため第3子以降という限定がある。今回想定した人数は450人を出生値として見込んでいる。期間としては29年4月1日からとしている。第3子以降の補助金申請は県に行う。補助率は2分の1で出生値は80人程度を想定している。

問 クラウドファンディング型のふるさと納税は目標額を達成しない場合、事業の実施はどのようになるのか。

答 インターネットを通じて資金を募るクラウドファンディングにおいては目標額に達しなかった場合に返金するものと、達しない場合でも事業を実施するものがあり、一般的に自治体におけるクラウドファンディング型では目標額に達しなくても事業を実施する。目標額に達しない額は通常のふるさと納税寄附金を充当する。

問 どのような狙いで雲海カメラを設置するのか。

答 インターネットを通じてミューズパークからの雲海を観てもらうことで、観光集客につながるものと期待している。

るものと期待している。

問 災害対策費の公有財産購入費について、土地の購入目的は。

答 市の防災活動体制を強化するため、防災倉庫用地、防災資材等の置き場として購入したい。

問 妊娠・出産・子育て包括支援事業における非常勤職員報酬をメインとするこの補正予算事業の内容は。

答 10月から予定している助産師等による相談事業の報酬と消耗品費である。

問 体育施設管理運営事業、簡易トイレ借上料の用途は。

答 別所運動公園へ簡易トイレを増設する。11月にはフットベース競技の関東大会も開催されるためトイレの混雑の緩和を図る。



ミューズパークに設置した雲海ライブカメラの画像(10月18日撮影)

9月定例会で審議した議案、請願の結果

Table with 7 columns: 議案、請願の件名, 議決結果, 会派ごとの賛否 (清流6人, サン6人, 共産3人, 公明2人, 絆2人, 無党派金崎, 無会派金崎). Rows include 28年度決算 and 条例 items.

Table with 7 columns: 議案、請願の件名, 議決結果, 会派ごとの賛否 (清流6人, サン6人, 共産3人, 公明2人, 絆2人, 無党派金崎, 無会派金崎). Rows include 29年度補正予算 and 議員提出議案 items.

清流：清流クラブ サン：サンライズ秩父 共産：日本共産党秩父市議会議員団
公明：公明党 絆：市民の会・絆 無会派：会派に属さない議員
※議長は人数に含まれていない。

○：賛成 ×：反対

常任委員会の報告

総務委員会

9月定例会で付託された議案6件及び9月から継続の請願1件について報告する。

◆28年度一般会計決算

収入は、1775件、約2億1500万円。事務の代行料、返礼品等の支出を差し引き、約1億1032万円プラス。市民税は、約220万円の減収となっている。

意見 マイナンバー制度は、メリットが少ない反面、システム関連に巨額を投じられ、市の持ち出しも発生しているにもかかわらず、情報漏えいが危惧されており、反対する。

◆個人情報保護条例及び情報公開条例の一部改正

○挙手多数により認定
マイナンバーの情報流失対策

答 システム、ネットワークの制約と職員の意識向上の研修を実施、両方の対策が備わって効果がある。

◆市税条例等の一部改正

答 今回の改正により個人情報の定義が明確になり、厳密に個人情報保護の取り扱いができる。負担増にはならない。

◆都市計画税条例の一部改正
◆工事請負契約の締結(防災行政無線システム整備工事)
問 秩父地区の戸別受信機の貸与世帯と貸与できない世帯数および問こえにくい場合の対策は。

答 貸与予定が5775世帯、貸与対象でない世帯が約1万6000世帯となっている。放送内容と同じものを安心安全メールで携帯電話に送信する。

◆一般会計補正予算(第1回)

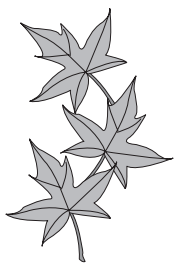
問 災害・危機対応事業の補正内容は。

答 上宮地町地内の土地を更地で購入し、防災倉庫を設置する。

◆秩父ミュージズパーク内に天文施設(設置方について)(請願)

意見 ミューズパークは、子どもたちが自転車で通える場所、星空を見られる魅力的な建物ができれば素晴らしい。財源等いろいろな問題はありますが、前向きに今後検討したい。

どの程度の規模の施設を要望しているのか現状ではわからないが、よく理解できる。もうちょっと様子を見るための期間が必要。
○継続審査に決定



常任委員会の報告

まちづくり委員会

9月定例会で付託された議案12件について報告する。

◆28年度一般会計決算

問 清流園維持管理事業の修繕料が前年より増額した理由は。

答 使用開始から20年が経過したウォーターエースという設備に関して、安全・安定した稼働を継続するための予防保全処置として修繕を行った。

問 秩父まつり会館の入館料および入館者が27年度を下回った理由は。

答 リニューアル工事による休館期間の影響が考えられる。3年間のリニューアル工事が完了し、29年度は28年度を上回る見込み。

問 住宅使用料の収入未済額が約3360万円と調定額に対して22・8%と高い比率である理由およびその対策は。

答 滞納家賃納付誓約書の不履行や、新たな滞納が発生したことによる。滞納整理は事務処理要綱に基づき実施し、毎月の文書催告や電話による督促、職員による年数度の臨宅徴収を行っている。納付する意思のない高額滞納者については自主退去を促し、退去後にも家賃の返済を求めている。

◆28年度下水道事業特別会計決算
問 終末処理建設事業における土地の購入理由は。

答 下水道センターの計画区域内を今後の新しい処理場の建設予定地と定めているが、区域内に所在する民有地の買い取り請求に応じたもの。

◆28年度農業集落排水事業特別会計決算

◆28年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計決算

◆28年度公設地方卸売市場特別会計決算

◆28年度駐車場事業特別会計決算
○以上6件は認定

◆一般会計補正予算(第2回)

問 地場産品販路拡大事業の海外販路拡大事業委託料の内容は。

答 秩父地場産品振興センターへ委託する予定で、サンフランシスコ総領事館、北カリフォルニア日本商工会議所にご支援いただき、秩父の物産品をPRしていく。

◆下水道事業特別会計補正予算(第1回)

◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)

◆戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1回)

◆公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1回)

◆駐車場事業特別会計補正予算(第1回)

○以上6件は原案のとおり可決

文教福祉委員会

9月定例会で付託された議案11件について報告する。

◆28年度一般会計決算

問 予防接種事業の高齢者予防接種の内訳と接種人数は。

答 高齢者の予防接種は2種類あり、高齢者インフルエンザ予防接種では、接種費用4200円のうち3000円を市が補助し、自己負担1200円を接種した方が1万1003人。肺炎球菌予防接種では、接種費用8000円のうち5500円を市が補助し、自己負担2500円を接種した方が1777人となっている。

問 障害者自立支援事業の相談支援について、28年度の相談件数は。

答 知的障がいの方の相談が1976件、精神障がいの方の相談が7000件、身体障がいの方の相談が1914件、合計1万9000件である。

意見 障がいのある方たちへのサービスの低下が見られる。保育所では、臨時職員が多く、正職員で責任を持った保育をすべきであると考えている。介護保険特別会計、国民健康保険特別会計への繰出しも厳しい内容であり、反対する。

○挙手多数により認定

◆28年度国民健康保険特別会計決算
○認定

◆28年度後期高齢者医療特別会計決算
意見 後期高齢者医療制度そのものに反対である。

○挙手多数により認定

◆28年度介護保険特別会計決算

問 介護予防事業としての地域サロンの現状は。

答 28年度から県の介護予防モデル事業「いきいき百歳体操」を住民主体で立ち上げた。県のアドバイザー派遣等の支援を受け、28年度は38人の介護予防サポーターが誕生した。市内3地域で実施する「秩父ポテくまくん体操教室」が、今後、地域サロンに移行していく。

意見 制度そのものに反対。
○挙手多数により認定

◆28年度市立病院事業決算
○認定

◆老人福祉センター条例の一部改正

◆一般会計補正予算(第2回)

◆国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

◆介護保険特別会計補正予算(第1回)

◆市立病院事業会計補正予算(第1回)
○以上6件は原案のとおり可決

意見書

9月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書4件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

「全国森林環境税」の創設等に関する意見書

- 1 平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要なる財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税(仮称)の創設」に關し、「平成30年度税制改正に關し、「平成30年度税制改正に關して結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。
- 2 森林環境税(仮称)の創設に当たっては、地方の意見を十分に踏まえて制度設計するとともに、各県を中心に独自に課税している森林環境税等との関係についても確実に調整を図ること。
- 3 実現までの間においても、必

要な施策を推進するための予算を十分に確保すること。

- 4 林地の集約化、森林経営計画策定の促進及び「全国森林環境税」創設後の市町村における間伐等の実施に向け、市町村への林務担当職員の配置、人材育成に向けた国の支援策を講じること。
- 5 国有林野事業については、民有林支援及び国有林における公益重視の管理経営と地域振興・地域林業への貢献に向けた役割を果たすため、組織体制の拡充をはじめとする現場管理機能の強化・拡充等を図ること。
- 6 本格的な利用期を迎えた我が国の森林について、新たな管理・経営のスキームの検討を進めるに当たっては、国産材の需要の創出・拡大策を並行して推進していくこと。

小中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書

- 1 早期にプログラミングの指導の概要について明らかにすること。
- 2 円滑な指導を行うため、自治体間の格差を是正するために必要な財政措置を行うこと。
- 3 民間の人材を積極的に活用したり、小規模な自治体などにお

いて適正な人員配置が困難な場合など、広域での対応を認めるなど、弾力的な人材配置を認めること。

住宅の石綿被害の実態解明と対策を求める意見書

政府においては、公共住宅にとどまらず一般住宅も含め石綿使用の実態を徹底的に調査し、その調査結果の公表と必要な被害防止対策を講じるとともに、全ての石綿被害の補償救済や予防に努めるよう強く要望する。

保育士の処遇改善を求める意見書

- 1 保育士の配置数の適正化など認可保育所の運営費を大幅に引き上げること。
- 2 11年で「頭打ち」となる経験給加算など早期退職につながる賃金制度設定を改善すること。
- 3 非正規職員の正規化をすすめるとともに、均等待遇をはかること。
- 4 今年度から導入されたキャリアアップ制度にもとづく処遇改善については研修とは切り離すこと。

まちづくり委員長の就任

9月11日付けで、大久保進議員が、まちづくり委員会の委員長に就任しました。

12月定例会の予定

| 日 程 | 議 事 |
|-----------|-------------|
| 11月29日(水) | 開会、議案説明 |
| 12月5日(火) | 議案に対する質疑 |
| 6日(水) | 文教福祉委員会 |
| 7日(木) | 総務委員会 |
| 8日(金) | まちづくり委員会 |
| 12日(火) | 一般質問 |
| 13日(水) | |
| 14日(木) | |
| 20日(水) | 委員長報告、採決、閉会 |

インターネット中継

※各日、午前10時開会予定です。
 ※議場は、本庁舎の4階です。
 ※日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合があります。


市議会では、本会議の様子をインターネットで録画中継にて配信しています。
 パソコンのほか、スマートフォンやタブレットを使って自宅などで、後日いつでも好きなときに見ることができます。

※録画中継は、各日の会議終了の概ね7日後から公開しています。

一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

| | | |
|--|---|--|
| <p>① 荒船 功（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 財政 2 学校再編 3 ため池の耐震調査結果 | <p>⑥ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保育士の処遇改善をすべき 2 民間保育園運営費補助金廃止の理由は 3 田村地内土砂たい積の現状と動きは 4 国民健康保険税は広域化でどうなるのか | <p>⑪ 富田 俊和（サンライズ秩父）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 活力の見えるまちづくり |
| <p>② 高野 宏（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歴史文化伝承館等の活用 2 教育行政、奨学金・エアコン設置状況 3 児童生徒の危機管理 4 リサイクル事業、資源回収支援事業 | <p>⑦ 黒澤 秀之（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 (仮称)森林環境税創設に伴う林業振興 2 公共交通機関維持に向けた秩父鉄道支援 3 人口減少対策としての不育症検査・治療 | <p>⑫ 清野 和彦</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 若者政策・若者議会 2 国民健康保険 3 市の長期財政見通しと財政プラン |
| <p>③ 山中 進（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 介護保険制度 2 子育て支援 3 青年サポート事業 4 障がい者支援 等 | <p>⑧ 福井 貴代（公明党）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 タブレット活用で聴覚障がい者窓口支援 2 乳がん検診時高濃度乳腺の通知 3 要介護の改善を促すケアを評価する仕組み | <p>⑬ 浅海 忠（市民の会・絆）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 秩父市行財政の進捗状況 2 ジオパークを活用した観光・地域振興 3 災害時における議会・議員との連携 |
| <p>④ 木村 隆彦（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校教育 2 花の木小学校南門付近の交差点 3 市からの消防団員への伝達の現状 4 町会が設置している防犯灯 | <p>⑨ 大久保 進（公明党）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 婚活支援 2 防災士の現状 |  <p>スマートフォンやタブレットでも視聴することができます。</p> |
| <p>⑤ 金崎 昌之</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 放課後学習支援の現状と今後 2 コミュニティ・スクールの課題 3 地域救急医療体制のゆくえ 4 住宅の耐震化促進へ | <p>⑩ 落合 芳樹（サンライズ秩父）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人口急減社会 2 空き家・空き地 3 子どもの医療費補助 4 教育行政 | |

※市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

ため池の耐震調査結果

問 東日本大震災で、福島県須賀川市の農業用ため池「藤沼湖」が決壊して、近くの7人が死亡、1人が行方不明になったことから、農水省は、26・27年度にかけて、自治体に補助金を出して調査を実施した。下流や周囲に民家や公共施設があるなどの理由で、自治体が優先して調査した結果、3095か所のうち58%の1787か所で水をせき止める堤体が耐震不足だとの調査結果を公表した。埼玉県は、29か所調査して9か所のため池が耐震不足という結果であったが、市内のため池の調査結果は、

答 市内の農業用ため池として、台帳整理されている「ため池」19か所について、国の基準に基づき調査を実施した。この結果、17か所のため池については、詳細な点検調査や改修等の緊急性はないが、久那地区の「弁天池」と大野原地区の「峰沢池」の2か所については、民家や公共施設等が近いことから、より詳細な点検が必要となった。そのため、28年度に国・県の補助金を活用し、詳細な耐震点検調査を実施した。その結果、どちらの「ため池」も堤体の

清流クラブ

荒船 功

いさお



ひび割れや陥没は無く、地震動による液状化も発生しないと判断された。しかし、「弁天池」は、地震動で直ちに決壊する可能性は非常に低いものの、新規堤体設計に用いる安全率は満たしていない結果となった。今後、国や県の指導を受けて、適正な安全率を確保するための堤体改修の必要性や施工方法等を含め、関係機関を交えて協議をしていく。



峰沢池のボーリング調査

- ◎市の財政
- ◎学校再編

一般質問

歴史文化伝承館の活用



清流クラブ 高野 宏
たかの ひろし

問 歴史文化伝承館での夜祭り観覧事業の復活は。

答 本年3月に、市役所本庁舎及び秩父宮市民会館が竣工し、この機会に、今年度から歴史文化伝承館における秩父夜祭りの無料観覧を再開する。具体的内容は、現在検討中だが、各町会から希望者を募り、200名規模で実施する予定である。また、多くの市民の方々が観覧できるよう、町会を限定し、5年間で80町会すべてに声をかける予定である。まず、今年は秩父夜祭りの屋台・笠鉦町会14町会におこしいただく。来年以降、町会を変え、5年で一巡する形で招待していく。今回からの新しい事業として、伝承館屋上庭園と、団子坂にライブカメラを設置し、伝承館ホールでライブ映像をご覧いただき、また、ホール前のホワイエで、生の秩父夜祭りをご覧いただく予定である。

問 本庁舎・市民会館の完成に伴う、歴史文化伝承館の今後の使用方法は。

答 公民館事業等生涯学習活動については、施設の復旧を行い、従来の機能を回復し、各種事業を



市民の交流の場所となる歴史文化伝承館

行っている。歴史交流フロアーについては、新たな活用方法も含め、歴史文化遺産や文化財等の展示、市民の皆様の成果発表の場としての検討を進めている。

問 今年の有料観覧席の設置計画は。花火は見えるか。

答 夜祭り有料観覧席は観光協会が設置運営している。今年市庁舎等の建設完了に伴い、観覧席を一部変更する。本庁舎に近いブロックは花火が見えにくいことから、今年の観覧席は秩父公園をL字型に囲うように配置予定である。

ゆき届く福祉とまちづくり



日本共産党秩父市議会議員団 山中 進
やまなか すずむ

● 介護保険制度

問 第7期介護保険制度について、27年から利用料が(所得により)2割負担の導入、さらに次期は3割負担の導入が叫ばれている。この改正について広範な国民から批判の声が上がっている。要介護者や家族の苦しみに追い打ちをかける根拠なき3割負担は容認できない。要支援者のサービス切り捨て、自助・共助と称しボランティアなどにゆだねるなど負担を地方自治体にも求めている。第7期介護保険制度の保険料や総合事業を含め、今後の見通しと考えは。

答 今後は策定委員会により計画を策定していく。改正後の保険料については65才以上の保険料は1パーセントの増額が予想される。利用料についても来年8月から(所得により)3割負担となる。総合事業では訪問・通所介護について現行のサービスと緩和サービスを創設し、影響がないよう運用している。

● 子育て支援

問 学童保育室利用の多子世帯の減免制度創設の考えは。

答 現在、他の自治体の動向や近年の社会情勢における子育て世帯の状況等を踏まえ、1世帯2人以上の入室の場合2人目半額、3人以上以降無料とする減免基準による制度創設を考えている。



学童保育室の受け入れ準備中

- ◎ 青年サポート事業
- ◎ 障がい者支援
- ◎ 地域支援

一般質問

花の木小学校南門付近の交差点

交差点



清流クラブ 木村 隆彦
きむら たかひろ

問 花の木小学校南門付近の交差点は、朝の通勤通学の時間帯に交通量が増え非常に危険である。この付近には、花の木保育所、秩父さくら幼稚園、花の木小学校、秩父第二中学校、秩父高校、高等技術専門学校秩父分校等多くの施設があり、それらの施設へ向かう車や児童生徒が一時的に集中し、非常に危険な交差点である。この交差点の安全対策がとれないか。

答 学校・市民部・地域整備部と協議しながら看板の整理やカーブミラーの見直し等を検討していく。

修し、門の幅を広げて欲しい。理由は交差点のフェンス越しの視界が広がり他方から侵入してくる車の状況が把握でき、安全が確保できる。また、学校側の要望としても、門を広げることにより修学旅行や社会科学見学等で大型バスを利用する際に、市道より直接校庭内に入ることができる。門を広げて改修を行うことにより交差点の安全確保や学校側の要望等にも対応できると思うが考えは。

答 できるだけ早期に改修工事を実施できるように協議していく。

●南側のフェンスの改修は

問 現在の花の木小学校の二中側はまだブロック塀の上にフェンスがあり、そのフェンスには案内板等が掲示され、非常に見通しが悪い状態である。このブロック塀やフェンスを改修し、見通しの良い交差点にできないか。

答 花の木小学校では27年度より計画的に東側のフェンスの改修を行っている。南側のフェンスも老朽化が進んでいるため、改修工事が必要な状況である。



早朝の交通量が多い花小南門前の交差点

放課後学習支援の現状と今後

現状と今後



かなさき まさゆき
金崎 昌之

問 新たに地域ぐるみでの小中学生向け放課後学習支援「夜勉」の取組みが始まった。現状と課題、今後の継続は。

答 月2回で年間22回を予定。課題は、参加人数が予想を大きく上回り会場に余裕がないことなど。家庭環境の多様化などが課題になっている中、地域の力で子どもたちを育てていくという視点で、次年度以降も継続し、広げたい。

急医療体制のあり方について、市民と共に考えていく「場」づくりが求められる。

答 今後の救急医療体制のあり方について、方向性を議論する必要性が増している。ちちぶ医療協議会等の場で議論を深めていく。

●コミュニティ・スクールの課題

問 学校運営の課題に広く保護者や地域住民が参画できる仕組みのこの制度は、来年度市内全小中学校に導入する予定とのことだが、まだまだ市民のなじみは薄い。導入のねらいや試行段階での課題は。

答 地域と一体となって子どもたちを育むことを目指して導入した。課題は、保護者や地域住民、教職員へ設置目的や効果について周知徹底することがあげられる。

●住宅の耐震化促進へ

問 昭和56年5月以前に建てられた住宅の6割が現行耐震基準を満たさないとのこと。県内他市に比べて極めて補助が低いので耐震化の促進のために拡充が必要。

答 予算措置の協議を進めていく。

●地域救急医療体制のゆくえ

問 地域医療の充実は、市民の切実な願い。危機的な事態にある救



市が各家庭に回覧した「戸建住宅震災対策啓発リーフレット」

一般質問

国民健康保険税は

どうなる

日本共産党秩父市議会議員団

出浦

章恵



等で検討していく。

●国民健康保険税

問 県の第3回シミュレーションが示されたが、納付金の試算はどうか示されたのか。

答 29年度納付金試算額と27年度納付金相当額を比較して、激変緩和措置を算定し、市の納付金額はいくつか示された試算のうち、激変緩和措置の対象となる税額の増加割合を自然増のみとした場合の試算で16億8093万円となる。

問 一人当たりの保険税必要額は、10万246円と示された。

問 今後のスケジュールは。

答 県は29年11月に仮算定、30年1月に本算定を行い、各市町村に確定納付金を提示する予定としている。市では、国保運営協議会等を適時開催して、賦課税率等の改正等協議していく。

問 今後一般会計からの法定外繰入はどのように考えているのか。

答 市は現在、資産割を含め4方式で賦課税率等は県内市町村中、低い方となっている。被保険者の所得や世帯状況を精査し実態を踏まえ一般会計からの繰入による税負担軽減、健全な国保運営を十分考慮し、国民健康保険運営協議会

●民間保育園の運営費補助

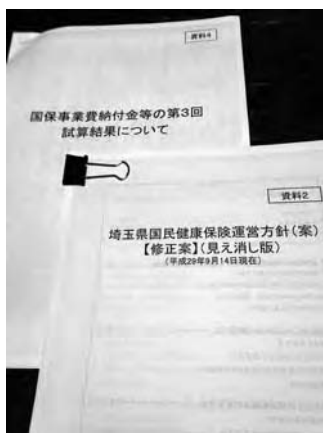
金廃止

その理由は。

答 保育制度が大幅改正され、補助金内容を精査した。时期的な関係で28年度当初予算に反映できず29年度から適用した。

問 廃止の見直しの考えはないか。

答 保育事業者の意見を聞き補助内容を模索・精査していく。



埼玉県から示された資料

◎保育士の処遇改善を
◎田村地内土砂たい積の現状は

森林環境税創設に伴う

林業振興

清流クラブ

黒澤

秀之



問 秩父市有林の森林管理認証取得状況と東京五輪新国立競技場建設に対する働きかけの状況は。

答 28年12月19日付で埼玉県初の森林管理認証を取得した。五輪関連施設建設への対応として、建設企業、大手木材メーカー、全国木材組合連合会へ働きかけを実施している状況である。

問 (仮称) 森林環境税の創設が噂されるなか、森林面積87%を有する市としての対応は。

答 当市は、県内63市町村で唯一、林業を専門に行う「森づくり課」を有しており、森林環境税創設後は市の役割が重要になるため、対象事業の速やかな履行に向けた人材育成の観点から、林業職員を新たに確保し、創設後の対応をしっかりとしていく。

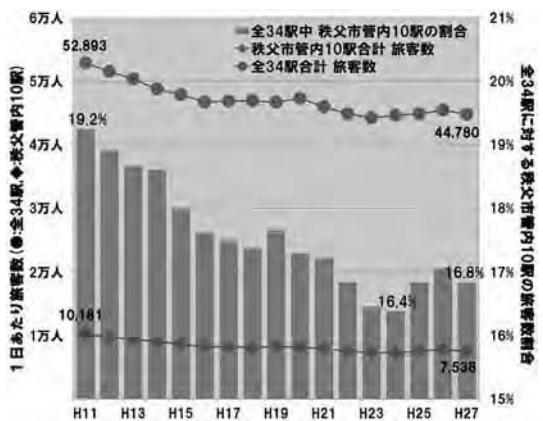
●公共交通機関維持に向け

た秩父鉄道への支援

問 秩父鉄道Sレプレオエクスプレスが、運行開始し30周年が経過した。秩父鉄道は、旅客が利用する全34駅中10駅が、市に所在しており、公共交通機関としてなくてはならない存在である。人口減少

に伴う利用数減少を市としてどのように支援、対応していくのか。

答 秩父鉄道は、市にとって重要な公共交通機関であり、沿線8市町で構成する秩父鉄道整備促進協議会を通じて、安全対策事業への支援やイメージアップ・PR事業、国・県への要望活動をより一層展開していく。また本年度は、埼玉県主導による「県内公共交通のあり方検討会」なども開催されており、積極的に関与していく。



◎人口減少対策としての不育症検査・治療

一般質問

タブレット活用で 聴覚障がい者窓口支援



公明党 福井 貴代

問 飯能市では、遠隔手話・筆談・音声認識機能を備えた専用タブレット端末を使用し、聴覚障がい者の窓口でのコミュニケーションの円滑化を図っている。音声認識機能は多言語通訳もでき、27か国の外国人来庁者にも対応できる。更に、自宅や外出先から、自分のスマートフォンやパソコンのテレビ電話機能を使い、障がい者・手話通訳者・職員の3者がつながった状態で会話ができる。この代理電話支援で、救急車の要請や火事の通報・警察、病院への緊急連絡もコールセンターを経由して110番や119番に連絡するサービスもある。利用者からは「窓口に行きやすくなった」との声が上がっている。市での導入について考えを伺う。

答 障がいのある方だけでなく、高齢者や外国人に対するコミュニケーション手段としても有効と考えられる。先進事例を参考に先行する事業との整合および費用対効果も踏まえ研究していく。

● 検診時の高濃度乳腺の通知
問 乳腺の密度が高いために、乳

がんがあっても見つけにくい「高濃度乳腺」の方へ通知が必要ではない」との提言があった。そのため集団検診での通知は控えている。個別検診受診者で、高濃度乳腺の方には、結果通知書にコメントを入れていく。国でも通知方法を検討している。「指針についての情報」を収集しながら、秩父郡市医師会や、関係機関と検討していく。

答 集団検診の委託先へ県医師会より「受診者に告知する必要はない」との提言があった。そのため集団検診での通知は控えている。個別検診受診者で、高濃度乳腺の方には、結果通知書にコメントを入れていく。国でも通知方法を検討している。「指針についての情報」を収集しながら、秩父郡市医師会や、関係機関と検討していく。



飯能市聴覚障害者支援事業チラシ

◎ 要介護の改善を評価する仕組み

婚活支援

問 市の婚活支援の現状とこれからの考え方は。

答 現状は社会福祉協議会で結婚相談業務を月一回実施しているほか、年2回程度婚活イベントを開催している。結婚相談業務では、民生委員を中心とした結婚相談員に協力を頂き相談を受け付けている。結婚イベントに関しては、参加費を集め、レストラン等を貸し切って実施している。現状の課題は、女性参加者が男性参加者の半数程度しか集まらないことや参加者の流動性が少ないためカップルとして成立しにくいことが挙げられる。これからの考え方としては移住政策の一環として婚活事業を推進していきたいと考えている。まずは今年中に豊島区と秩父市の若手職員同士でモニター婚活ツアーを実施し、今後実施するイベントの内容や婚活支援に対するニーズに対して精査を進めていく。

問 NPO法人と協力した婚活支援の導入の考えは。

答 NPO法人を利用するには、地元でNPO法人を立ち上げる必要があり、運営事業費も相当な金額が見込まれるため、まずは近く



公明党 大久保 進

開設予定の東京事務所の動向を見定めつつ今後検討していく。

● 防災士の現状と資格取得の際の補助

問 市の職員で防災士の資格の取得者は。資格取得の推進および補助は。

答 防災士の資格者は市内では22人の方が認証されているが市の職員が認証されているかは把握していない。有益性は認識しているが、資格助成制度よりも自主防災組織リーダーの養成を進める。



防災士研修の案内

一般質問

教育行政



サンライズ秩父 落合 芳樹
おちあい よしとむ

問 27年度、新教育委員会制度が導入され、市長が主催する「総合教育会議」を開催することになったが、開催状況等は。

答 27、28年度はそれぞれ4回、29年度はこれまでに2回開催している。毎回、市長、教育長、教育委員との間で活発な意見交換が行われ、充実した議論の場になっている。29年度は、放課後児童対策、教育相談の充実、就学前教育、伝統文化を大切にする教育について協議している。教育総合会議における協議により、教育委員会と市長部局との連携が強化され、教育大綱の策定、学力向上の取組みはもとより、ICTを活用した教育の推進、発達障がい支援体制の整備等、教育行政の推進に対する成果が得られており、設置の意義は大きい。

問 全国学力テストの結果が公表されたが、市の小中学校の状況は。

答 小学6年生の国語A、国語Bは、全国及び県の平均を上回る正答率で、算数Aは、県の平均を上回る正答率だった。中学3年生では、数学を中心に改善が図られている。これは、授業改善などの効

果が表れたものと考えている。

問 医学生等の奨学金の状況と今後の方針は。

答 今までに2人に貸し付けている。貸付期間の1・5倍の期間を市立病院及び大滝国民保健診療所で勤務してもらうことになっている。1人は、19年4月から2年間で480万円、3年間の勤務義務がある。もう1人は、22年4月から6年間で2160万円、9年間の勤務義務がある。来年度から新専門医制度が始まるので、現在は募集を控えている。



「秩父市の教育」

活力の見えるまちづくり



サンライズ秩父 富田 俊和
とみた しげあき

●都市計画道路の整備推進

問 桜木通線・永田通線の整備は交通の円滑化だけではなく、防災・減災の面からも必要であると考えが。

答 来年度より20年先を見込んだ「秩父市都市計画マスタープラン」の策定を行い、この中で中心市街地の活性化や防災・減災等を考慮し、安心安全なまちづくりをめざすため、桜木通線・永田通線など既成の都市計画道路の検証と合わせ、新規に都市計画道路とすべき路線についても、「宮地〜横瀬線」を含め、検証していく。

問 県で行う事業には積極的に協力した方がよいと思うが。

答 今後も積極的に協力し連携を取りながら進めていく。

問 西関東連絡道路と関連して長尾根トンネルの整備計画があるが交通解析を行い、市内の整備路線を定めた方がよいと思うが。

答 交通解析を行い今後の道路整備の基本としたい。

問 観光客の往来する街路は、路面の整備はもとより緑化も推進したかどうか。

答 緑化を視野にいれて検証し、

●実行計画の作成

問 実行計画の作成は職員が行うため、特に技術職員は適材適所の人事配置が必要では。

答 技術職員の場合、定期的な人事異動ではなく、事業の継続性・経験・専門的技術の習得などを考慮し、実施していく。



永田通線

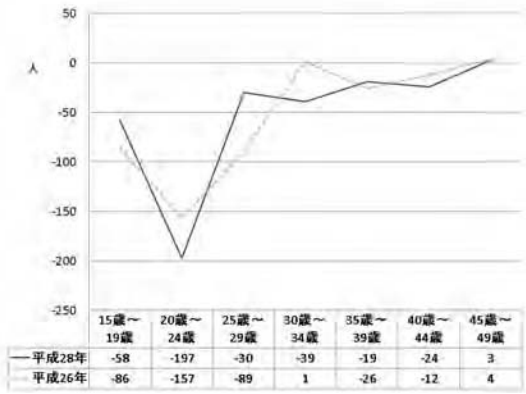
一般質問

若者政策

問 人口減少・超高齢社会を迎えるにあたり、若者がもつ活躍できるまちにするために包括的な若者政策が必要では。市の若年層の転入転出の傾向と要因について、全国各地で推進が始まっている若者政策について市の考えは。

答 15～39歳の転入者が転出者を上回る転出超過数は20～24歳が一番多く15～19歳が続く。進学や就職の転出が主な要因と考えられる。その上の世代は転出超過数が落ち着く傾向である。これらのことから一定期間都会暮らしを経験した上で何となく将来への不安や都会の生きにくさを感じている25～30代の若者に対して、早い段階からU・I・Jターンを促す政策は一定の効果があるのではないかと。16～64歳という年代は、義務教育と高齢者に対する福祉政策の間にあり、いままでは就職、結婚、子育てといった各シーンで個々の施策の対象となるのみで、総体的に若者という年代を区分し政策を打つ団体はごくまれであったが、若者自身が解決できない問題が表面化し、若者の市政参加を促し社会的自立を促す仕組みが必要になっ

◎長期財政見通しと財政プラン



秩父市の転入超過数(転入-転出)(28年2月内閣官房資料より)

てきているものと考えている。

●国民健康保険

問 30年度に国保制度始まって以来の大改革を控えているが、どれくらいの金額を一般会計から法定外繰入すれば、現行の保険税額に抑えられるのか。

答 まだシミュレーションの段階だが今時点で5億3000万円くらいかと考えている。



きよの 清野 かつひこ

秩父市の行財政改革

行財政改革の進捗状況は。

問 28年に改訂した行財政改革大綱は、「主要な施策の成果報告書」の裏面に記入した改善提案を「改革推進プラン」として位置付け、職員の負担軽減を図り、大綱実現の具体的な取組計画としている。

問 公共施設等のファシリテスマネジメントの進捗状況は。

答 すべての公共施設等の個別計画を32年度までに策定する中で施設の再編・再配置等、グラウンド等も含め具体的に取組んでいく。

問 計画作成は大事だがスピード感を持ち、できる所から早急にやる必要があると思うが。

答 確かに遅れているのでスピード感を持って対応したい。

●ジオパーク秩父を活用した観光振興と地域振興

問 ジオパーク秩父の活用は。

答 ジオツーリズムは、学習観光・知的観光にひと味加えた新しいコンテンツとしてPRしている。ガイド依頼の需要も増加している。登山・ハイキングも新たなジオサイト・自然サイトの発見など体感できるツーリズムとして魅力的だ

市民の会・絆 浅海 ただし 忠



と思う。登山ガイドや山岳ガイド等の確保に加えて、商品化の可能性など、協議会事務局のおもてなし観光公社とともに検討したい。

●災害時における議会・議員との連携

問 議会・議員との連携は。

答 大規模災害が発生し、市が災害対策本部を設置した場合において市議会として議員が災害対策本部と連携・協力のもと、被害の拡大防止や災害復旧等に協力してもらえば防災担当として心強い。



浦山地域から行けるサザレ石とブナの原生林

9月定例会の最終日に、議員提出議案の決議が審査され、下記のとおり可決されました。

北朝鮮の核実験に強く抗議し、米朝対話による問題の平和的解決に関する決議

北朝鮮は9月3日、昨年9月に続いて核実験を強行した。北朝鮮は「ICBM（大陸間弾道ミサイル）搭載の水素爆弾の実験を成功させた」と主張している。北朝鮮の核実験は、今年だけでも13回行った弾道ミサイル発射とともに、世界と地域の平和と安全にとって重大な脅威であり、累次の国連安保理決議、6カ国協議の共同声明、日朝平壤宣言に明白に違反する暴挙である。それは、国際社会が追求している「対話による解決」に逆行する行為であり、核兵器禁止条約の採択など「核兵器のない世界」を求める世界の大勢にも逆らうものである。本議会は、この暴挙を糾弾し、強く抗議するものである。

いまの最大の危険は、米朝両国の軍事的緊張がエスカレートするもとの、当事者たちの意図にも反して、偶発的な事態や誤算などによって軍事衝突が引き起こされる現実の可能性が生まれ、強まっていることにある。万が一にもそうした事態が引き起こされるならば、日本もその深刻な被害を免れることはできない。おびただしい犠牲をもたらす軍事衝突は、絶対に回避しなければならない。8月29日の国連安保理議長声明は「対話を通じた平和的で包括的な解決」を加盟国に呼びかけている。

よって本議会は、北朝鮮に対して、これ以上の軍事的な挑発を直ちに中止するよう強く求めるとともに、対話による解決を要望する。

平成29年9月26日 秩父市議会

傍聴席へのご案内

傍聴される際に、特別な手続きや事前の予約は必要ありません。傍聴を希望する本会議当日に、本庁舎4階の「傍聴受付」にお越しいただき、傍聴券へ必要事項をご記入ください。



1. エレベーターで4階まで上ります。



2. エレベーターを降りると左側に「傍聴受付」があります。



3. 傍聴席の入り口は、「傍聴受付」の左奥にあります。



4. 傍聴席は全部で41席（一般席）あります。

編集後記

短く感じられた夏が過ぎ、過ごしやすしい陽気となりました。人恋しい秋とも言いますが、お気に入りの本を見つけて読みふけるのはいかがでしょうか。

この「議会だより」が皆さんに届く頃にはこたつが出され、つい井戸寝をしてしまいますが、何とも心地良いものですよね。

寒さが一段と厳しくなる頃には秩父夜祭となります。子どもたちの太鼓の練習の音がかすかに聞こえてくる季節がやってきます。

一年が過ぎるのをとても早く感じるのは年を重ねたせいでしょうか。季節の変わり目、皆さんご自愛ください。編集委員会では、皆さんに親しく読んでいただけるよう努力をしてまいります。

平成29年10月 出浦 章恵 記

編集委員

- 委員長 木村 隆彦
- 副委員長 大久保 進彦
- 委員 江田 治
- 委員 清野 和彦
- 委員 赤岩 章
- 委員 高野 文彦